

【参考】グラフで見る男女別，年齢階級別の労働力状態

神戸市の15歳以上人口の労働力状態を，男女別，年齢階級別に詳細に見ていくとともに，20年前や全国値との比較を行い，神戸市における平成17年調査結果の特徴をしてみる。

1．労働力状態別人口ピラミッド（実数による昭和60年との比較）

図18は，神戸市の15歳以上人口ピラミッドを，労働力状態別に作成して重ねたものである。上は今回の平成17年調査，下は20年前の昭和60年調査の結果である。

最背面のピラミッドは15歳人口総数，その前面は労働力人口，最前面のピラミッドは就業者数を表している。また，15歳人口総数と労働力人口の差は非労働力人口（労働力状態不詳を含む）を，労働力人口と就業者数の差は完全失業者を表している。

(1)平成17年調査結果

それでは，今回の平成17年調査結果を詳しく見てみる。

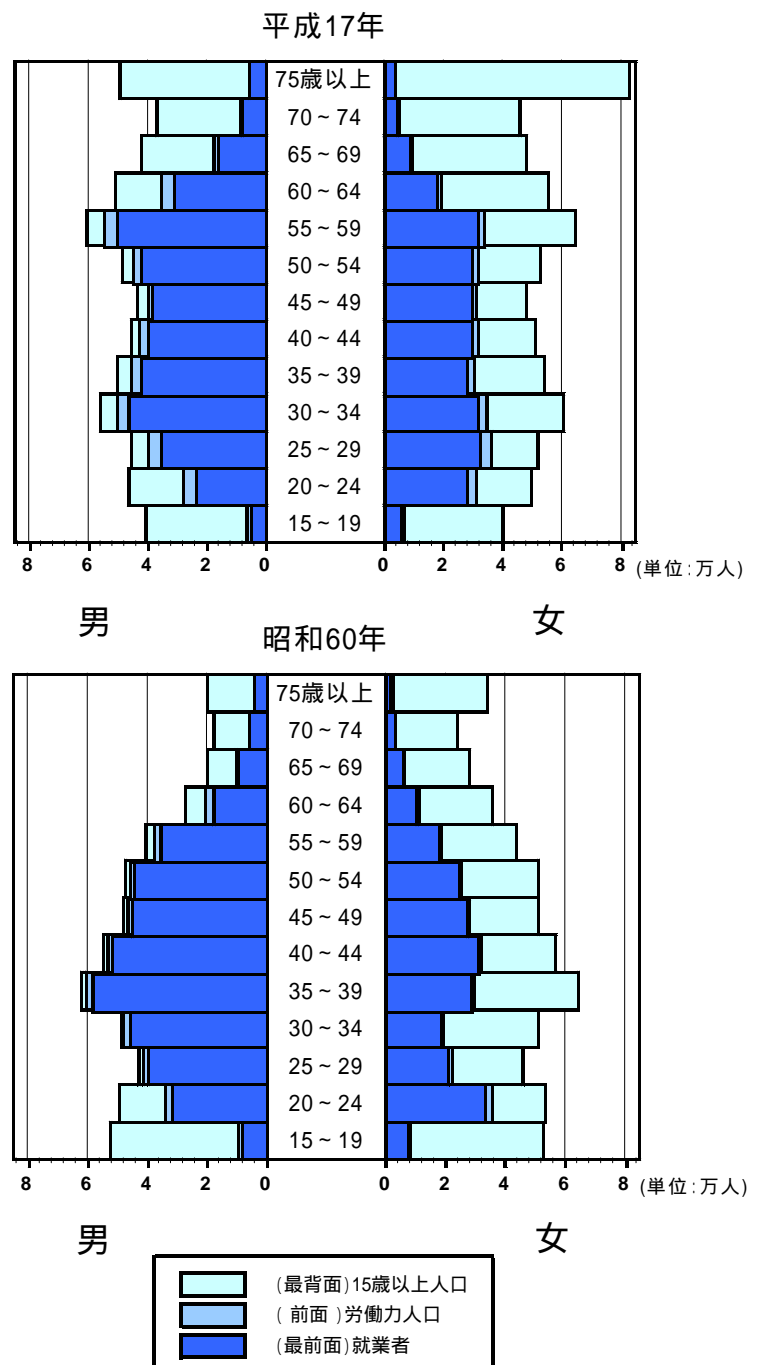
最背面の15歳以上人口総数のピラミッドを見ると，55～59歳と30～34歳の2つの年代でふくらんだ形をしている。前者は第1次ベビーブーム（昭和22～24年），後者は第2次ベビーブーム（昭和46年～49年）期に誕生した人を表す。また，男女を比べると，女性の人口の方が多くなっており，特に65歳以上の高齢者において顕著である。

次に，前面の労働力人口のピラミッドをみると，25歳から59歳までの年代が多く，下部（若年者）と上部（高齢者）が細くなった形をしている。また，男女を比べると，男性の労働力人口の方が多くなっており，女性の非労働力人口が各年代で多いことを見ることができる。

男性の労働力人口は，15歳以上人口総数と同じく，55～59歳と，30～34歳の2つの年代でふくらんだ形をしているが，女性の労働力人口は20歳から59歳までほぼ一定である。これは，人口の多い年代が，ちょうど女性の労働力率が低い年代と重なっているためと考えられる。（6～7ページ参照）

最前面の就業者数のピラミッドは，労働力人口とほぼ同じ傾向である。

図18 労働力別人口ピラミッド(平成17年，昭和60年)



(2)昭和60年調査結果との比較

では、20年前の昭和60年の結果ははどうであったらうか。

まず、最背面の15歳以上人口総数を見ると、平成17年と比べ上部の高齢者が小さく、下部の若年者が大きい、安定した形をしている。第1次ベビーブーム世代は35～39歳にあたり、第2次ベビーブーム世代はまだグラフに表れていない。

次に前面の労働力人口を見ると、男性は35～39歳をピークとしてふくらんだ形をしており、30代・40代の「働き盛り」の労働力人口が多かったことがわかる。また25歳から59歳までは、ほぼ人口と差が無く、現在より労働力率が高かったことがグラフからもわかる。一方女性は、20～24歳と40～44歳の2つの年代でふくらんだ形をしており、人口の多い年代とは一致していない。前述の女性のライフステージによる労働力率への影響によると考えられる。

昭和60年と平成17年の結果を比べてみると、15歳以上人口の総数は、男性が約8万7千人、女性が約11万4千人増加している。労働力人口の総数の変化をみると、男性は約2千人の増でほとんど変わらないが、女性はこの20年で約6万4千人増加している。

また、15歳以上人口、労働力人口ともに、重心が上がっており、高齢化の進行がうかがえる。

なお、実数での比較では、母集団である各年代の人口の大きさの影響を受けるため、昭和60年と平成17年の間の労働力状態の変化を見るには、年齢階級別労働力率の変化を併せて見ていただきたい。

(7ページ参照)

表30 年齢(5歳階級)、男女別労働力人口(平成17年、昭和60年)

年 齢	平 成 17 年					昭 和 60 年				
	15歳以上人口 ¹⁾	労働力人口	就業者	完全失業者	非労働力人口	15歳以上人口 ¹⁾	労働力人口	就業者	完全失業者	非労働力人口
男	619,602	421,345	384,412	36,933	162,408	532,813	419,262	396,270	22,992	110,137
15～19歳	40,790	6,584	5,431	1,153	32,540	52,991	9,451	8,224	1,227	43,417
20～24	46,598	27,848	23,672	4,176	14,198	49,529	33,883	31,621	2,262	15,156
25～29	46,273	39,590	35,227	4,363	2,649	42,955	41,271	39,421	1,850	1,172
30～34	56,423	50,605	46,347	4,258	1,790	49,200	47,949	46,122	1,827	691
35～39	49,977	45,604	42,338	3,266	1,293	61,830	60,615	58,411	2,204	823
40～44	46,377	42,833	40,217	2,616	1,100	54,461	53,329	51,612	1,717	804
45～49	43,433	40,403	37,968	2,435	1,107	48,052	46,870	45,155	1,715	926
50～54	48,928	44,992	42,019	2,973	1,720	47,704	46,100	44,107	1,993	1,370
55～59	60,650	54,515	50,266	4,249	3,442	41,040	38,018	35,084	2,934	2,855
60～64	50,932	35,502	31,226	4,276	13,258	27,707	20,587	17,331	3,256	6,976
65～69	42,280	17,875	15,791	2,084	22,341	19,714	10,601	9,357	1,244	9,031
70～74	37,279	9,017	8,284	733	26,264	17,583	6,353	5,811	542	11,156
75歳以上	49,662	5,977	5,626	351	40,706	20,047	4,235	4,014	221	15,760
女	701,341	303,156	282,889	20,267	380,043	587,577	238,920	229,135	9,785	347,092
15～19歳	39,860	6,627	5,740	887	31,818	52,287	8,243	7,688	555	43,976
20～24	49,448	30,916	27,742	3,174	15,373	53,281	35,393	33,410	1,983	17,621
25～29	51,526	36,215	32,851	3,364	12,868	45,805	21,872	20,465	1,407	23,723
30～34	60,646	34,476	31,553	2,923	24,256	50,460	19,102	18,129	973	31,189
35～39	53,752	30,293	28,098	2,195	22,129	63,939	29,819	28,705	1,114	33,997
40～44	50,483	31,656	29,966	1,690	17,834	57,029	31,706	30,801	905	25,214
45～49	47,771	31,113	29,742	1,371	15,871	50,869	27,973	27,264	709	22,811
50～54	52,209	31,364	29,989	1,375	20,095	50,608	25,231	24,523	708	25,289
55～59	64,145	33,459	31,847	1,612	29,696	43,248	18,165	17,469	696	25,014
60～64	55,421	18,931	17,885	1,046	35,678	34,907	10,690	10,230	460	24,128
65～69	48,140	9,618	9,238	380	37,691	27,635	5,809	5,640	169	21,753
70～74	45,449	4,849	4,695	154	39,722	23,602	3,041	2,978	63	20,497
75歳以上	82,491	3,639	3,543	96	77,012	33,907	1,876	1,833	43	31,880

1) 労働力状態不詳を含む

2. 労働力率等の男女別，年齢階級別比較（指数による全国結果との比較）

図19は，労働力状態別，従業上の地位別の人口を，15歳以上人口に占める割合で指数化し，同時に比較できるようにしたものである。（15歳以上人口は，労働力状態不詳を除く。）

折れ線グラフは，それぞれ外から順に労働力人口，就業者，雇用者（役員を含む）の割合を表す。

枠線と折れ線グラフで区切られた面は，外から順に，非労働力人口，完全失業者，その他（自営業者・家族従業者），雇用者（役員を含む）で，雇用者をさらに役員，常雇，臨時雇の3つに分けた。

また，左は平成17年調査の神戸市，右が同じ平成17年調査の全国値である。

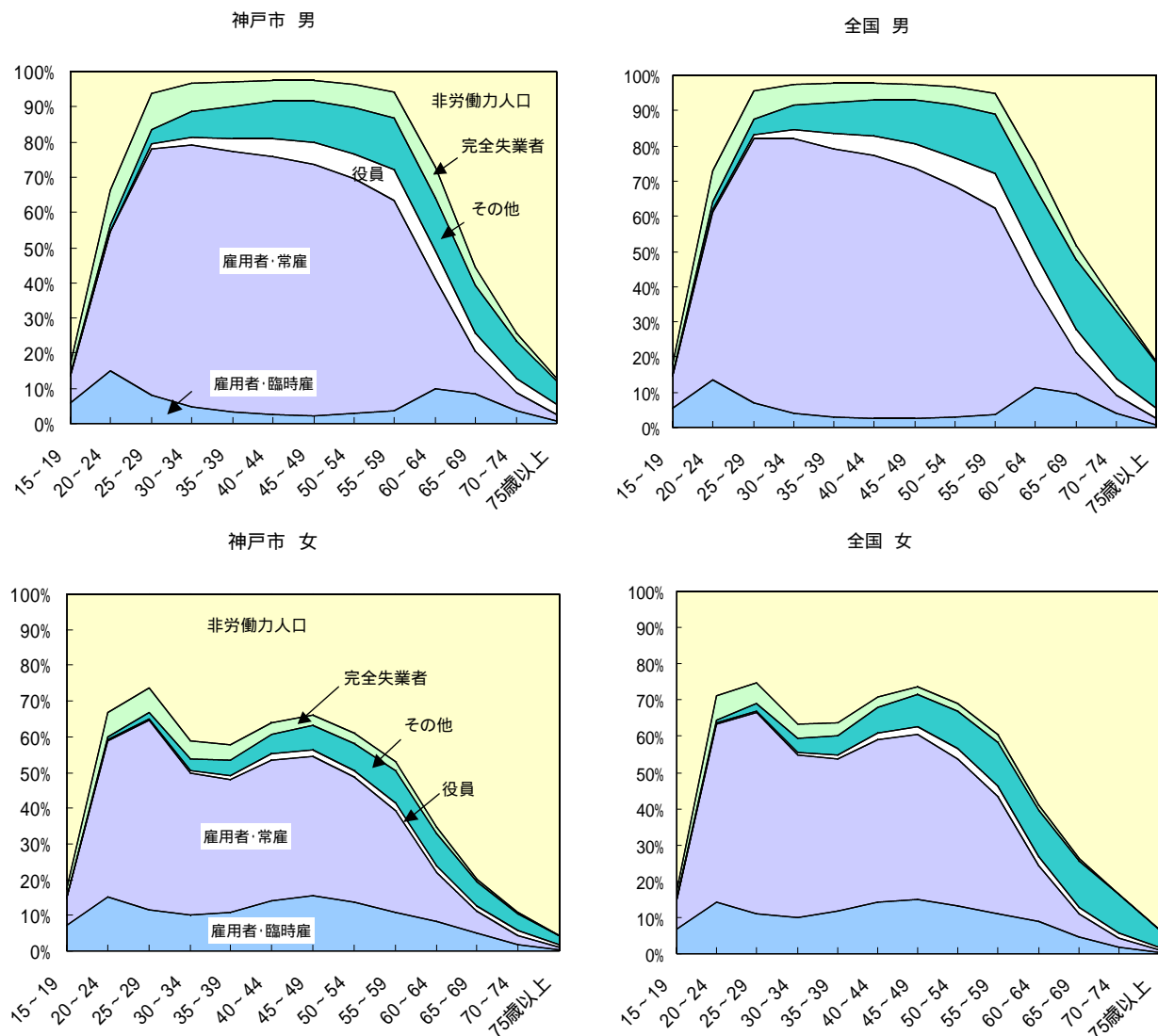
（ グラフ上は「従業上の地位不詳」を含む）

(1)神戸市の結果

最も外側の折れ線グラフは労働力率を表している。前述（6～7ページ参照）のとおり，男性は25歳から59歳まで90%台の高い水準を保ち台形状であるが，女性は結婚，出産等の影響を受け，「25～29歳」と「45～49歳」の2つをピークとするM字型のグラフとなっている。

外から2本目の折れ線グラフは就業者の占める割合である。この2本のグラフの間の面が，完全失業者の割合を表している。男女とも，20歳から29歳の若年層でこの割合が高めになっていることが分かる。

図19 男女別，年齢階級別労働力率等(神戸市，全国)



次に、労働力率の内訳を、従業上の地位別に見てみる。前述（15ページ参照）のとおり、臨時雇は男性では若年層と高齢者で比較的高くなっているものの、その他の年代では全体の3%前後と非常に少ない。一方女性は広い年代で1割前後の高い水準で推移している。役員とその他の就業者は、概ね年齢が高くなるに従って割合が高くなる傾向がある。

(2)全国値との比較

労働力率のグラフを全国値と比べると、前述（12ページ参照）のとおり、男女ともほとんどの年齢階級において全国値より低くなっている。特に、女性の「20～24歳」と30歳から74歳までは顕著である。男性も65歳以上の各年齢階級で6～9ポイントの差が開いている。

完全失業者の割合は、男女ともおおむね全国値より高いが、特に男性の25歳から34歳までは、2ポイント程度高くなっている。

従業上の地位別に全国値と比べてみると、女性の常雇の雇用者の割合が30歳から59歳までの各年齢階級で4～6ポイント程度低くなっている。また、男女ともに50歳以降の年代において、その他の就業者（自営業者、家族従業者）の割合が目立って低い。それぞれ、女性、高齢者の労働力率が全国値より低い要因としてあげられる。

3.まとめ

神戸市の15歳以上人口、労働力人口ともに、高齢化が進んでいる。

労働力率は、全国値に比べ、全般に低く、特に女性において顕著である。

女性の労働力率が低い要因として常雇の雇用者の割合が低いこと、高齢者の労働力率が低い要因として雇用者以外の就業者（自営業者、家族従業者）の割合が低いことがあげられる。

表31 年齢（5歳階級）、男女別労働力率等（神戸市、全国）

年 齢	神 戸 市									全 国								
	15歳以上人口 (労働力 状態不詳 を除く)	労働力人口						完全 失業者	非労働力 人口	15歳以上人口 (労働力 状態不詳 を除く)	労働力人口						完全 失業者	非労働力 人口
		就業者 1)	雇用者 常雇	雇用者 臨時雇	役員	その他 2)	就業者 1)				雇用者 常雇	雇用者 臨時雇	役員	その他 2)				
男	100.0	72.2	65.9	46.7	5.4	4.5	9.3	6.3	27.8	100.0	75.3	70.3	48.5	5.3	5.0	11.5	5.0	24.7
15～19歳	100.0	16.8	13.9	7.5	6.0	0.0	0.4	2.9	83.2	100.0	17.9	15.0	9.0	5.5	0.0	0.4	2.9	82.1
20～24	100.0	66.2	56.3	39.2	15.2	0.3	1.6	9.9	33.8	100.0	72.7	63.9	48.0	13.4	0.4	2.1	8.8	27.3
25～29	100.0	93.7	83.4	70.0	8.2	1.2	4.0	10.3	6.3	100.0	95.6	87.6	74.9	7.0	1.3	4.4	8.0	4.4
30～34	100.0	96.6	88.5	74.4	4.6	2.3	7.1	8.1	3.4	100.0	97.5	91.4	77.9	4.1	2.7	6.8	6.1	2.5
35～39	100.0	97.2	90.3	74.0	3.2	3.8	9.2	7.0	2.8	100.0	97.7	92.4	76.2	3.1	4.2	8.9	5.3	2.3
40～44	100.0	97.5	91.5	73.1	2.5	5.2	10.6	6.0	2.5	100.0	97.8	93.2	74.6	2.6	5.7	10.4	4.6	2.2
45～49	100.0	97.3	91.5	71.2	2.3	6.3	11.6	5.9	2.7	100.0	97.6	93.1	71.2	2.6	6.8	12.5	4.5	2.4
50～54	100.0	96.3	91.5	66.5	3.0	7.3	13.2	6.4	3.7	100.0	96.7	91.7	65.6	3.0	7.9	15.2	5.0	3.3
55～59	100.0	94.1	91.5	59.6	3.6	9.0	14.5	7.3	5.9	100.0	94.8	89.1	58.4	3.8	10.0	16.9	5.8	5.2
60～64	100.0	72.8	91.5	31.0	10.0	8.2	14.8	8.8	27.2	100.0	75.1	68.0	28.8	11.4	9.3	18.5	7.1	24.9
65～69	100.0	44.4	91.5	12.3	8.3	5.2	13.4	5.2	55.6	100.0	51.8	47.7	12.0	9.4	6.4	19.9	4.0	48.2
70～74	100.0	25.6	91.5	5.2	3.6	4.0	10.6	2.1	74.4	100.0	34.7	33.0	5.0	4.2	4.7	19.0	1.7	65.3
75歳以上	100.0	12.8	91.5	1.8	0.7	3.0	6.6	0.8	87.2	100.0	18.8	18.3	1.6	0.9	2.9	12.9	0.5	81.2
女	100.0	44.4	41.4	26.0	9.3	1.2	4.9	3.0	55.6	100.0	48.8	46.4	28.7	9.0	1.5	7.2	2.4	51.2
15～19歳	100.0	17.2	14.9	7.3	7.4	0.0	0.2	2.3	82.8	100.0	17.1	14.9	8.1	6.6	0.0	0.2	2.3	82.9
20～24	100.0	66.8	59.9	43.8	15.1	0.2	0.8	6.9	33.2	100.0	71.2	64.5	49.0	14.3	0.2	1.0	6.6	28.8
25～29	100.0	73.8	66.9	53.0	11.7	0.4	1.9	6.9	26.2	100.0	74.9	69.1	55.5	11.1	0.4	2.2	5.7	25.1
30～34	100.0	58.7	53.7	39.8	10.2	0.6	3.1	5.0	41.3	100.0	63.4	59.2	44.7	10.1	0.7	3.8	4.1	36.6
35～39	100.0	57.8	53.6	37.1	11.0	1.0	4.5	4.2	42.2	100.0	63.7	60.2	42.0	11.6	1.2	5.5	3.4	36.3
40～44	100.0	64.0	60.5	39.3	14.2	1.5	5.5	3.4	36.0	100.0	70.7	67.9	44.7	14.4	1.8	7.0	2.8	29.3
45～49	100.0	66.2	63.3	39.0	15.5	1.9	7.0	2.9	33.8	100.0	73.7	71.4	45.4	15.0	2.3	8.7	2.3	26.3
50～54	100.0	60.9	58.3	34.9	13.8	2.0	7.6	2.7	39.1	100.0	69.1	67.0	40.6	13.3	2.7	10.4	2.1	30.9
55～59	100.0	53.0	50.4	28.3	11.0	2.2	8.9	2.6	47.0	100.0	60.4	58.5	32.3	11.0	3.0	12.1	1.9	39.6
60～64	100.0	34.7	32.8	13.7	8.4	1.8	8.8	1.9	65.3	100.0	40.8	39.5	15.2	8.9	2.5	12.9	1.3	59.2
65～69	100.0	20.3	19.5	6.2	5.0	1.3	7.0	0.8	79.7	100.0	26.2	25.7	6.4	4.7	1.8	12.7	0.6	73.8
70～74	100.0	10.9	10.5	2.5	1.9	1.2	4.9	0.3	89.1	100.0	16.5	16.3	2.6	1.7	1.4	10.6	0.2	83.5
75歳以上	100.0	4.5	4.4	0.8	0.3	0.7	2.6	0.1	95.5	100.0	6.7	6.6	0.7	0.3	0.7	4.9	0.1	93.3

1) 従業上の地位不詳を含む 2) 自営業者（「雇人のある業主」「雇人のない業主」「家庭内職者」）及び家族従業者